

東大野球部 メールマガジン

VOL
141

〇いあごちり

春の日差しも心地よく暖かい日が多くなって参りましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

先週末に春季リーグ戦が開幕し、弊部は第1カード、早大戦を終えました。早大1回戦では宮台投手が13奪三振の好投を見せましたが、9回サヨナラ負けを喫し、2回戦ではチャンスで決めきれず大差をつけられての敗戦となりました。

今週末の明大戦では勝ち点を奪取するべく、より一層気を引き締めて練習に励んで参ります。東大野球部への熱いご声援をよろしくお願い致します。

〇今後の日程

〈平成28年度 春季リーグ戦〉 @明治神宮野球場

4月16日	東大 11:00	明大	法大 13:30	立大
17日	立大 11:00	法大	明大 13:30	東大
23日	早大 11:00	立大	慶大 13:30	明大
24日	明大 11:00	慶大	立大 13:30	早大

〇今回の特集「春季リーグ戦の見どころ」

春季リーグ戦第1カードを振り返り、残り4カードを観戦するにあたって注目してほしい選手や試合の見どころを学生コーチに聞いてみました。

小笠原 東洋（4年・学生コーチ・札幌南）

ついに春のリーグ戦が開幕しました。春のリーグ戦の見所はなんとといっても、この冬の厳しいトレーニングを乗り越え、一回り大きくなった選手の体つきです。例年以上に体づくりを意識してきた今年は、選手たちが本場に一生懸命ランニング、ウエイトトレーニングに取り組んできました。そんな選手達の走攻守すべてでレベルアップした姿をぜひご覧ください。



斉藤 正直（4年・学生コーチ・長崎青雲）

僕が思う今シーズンの見どころは、竹中投手（2年・修道）と有坂投手（2年・城北）のピッチングです。入部してから一冬越え、上級生にも引けを取らない、もしくはそれ以上の勢いのあるボールを投げるようになりました。彼らのフレッシュで堂々とし

た投げっぷりに注目してください！



佐伯 兼太郎（4年・学生コーチ・開成）

昨週の早稲田戦は、再三好機を作りながらも一点が遠い試合展開となりました。いま一度チーム全体で攻撃を見直し、取り組んでいく所存です。今季の注目選手といえばやはり、主将としてチームを引っ張る山本克志内野手（4年・聖光学院）と早稲田戦で好投を見せた宮台投手（3年・湘南）です。宮台投手を中心に守備でリズムを作り、山本克志主将を中心とする打線が援護する、そんな試合展開が見どころになるでしょう。



福田 守成(4年・学生コーチ・時習館)

耕蔵さん(田口耕蔵/3年・内野手・西大和学園)に注目です。早稲田2回戦では3安打と活躍の耕蔵さん。大きい体で威圧感のある構えは、とても頼もしいです。チャンスでタイムリーを打つ姿を見たいですね。また、次の明治戦では、左打者にも注目です。第1カード早稲田戦では悔しい思いをしましたが、選手とともに日々成長していこうと思っておりますので、これからも応援よろしくお願いいたします。



田宮 克真(3年・学生コーチ・東農大一)

新チームが開始してから半年、待ちに待ったリーグ戦がついに開幕しました。春のリーグ戦では二ユーフェイスが多く見られます。早大戦でも有坂投手(2年・城北)と竹中投手(2年・修道)の2人が初登板した他、多くの選手が初出場を果たしました。また、下雅意捕手(4年・甲陽学院)や平野外野手(4年・明石高専)、森田捕手(3年・学芸大附)といった昨年から出場している選手も初安打を記録し、チーム全体

が冬の間に大きく成長してきたことが実感できました。昨年に比べ様々な面で成長した選手の姿に、ぜひご注目ください。



編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。学生コーチ陣が教えてくれた注目選手や注目ポイントをふまえて、今週末の東京六大学野球リーグ戦を観戦してみたいかがでしょうか。次の試合は16日(土)の第1試合、明治大学戦です。ぜひ皆さまお誘いあわせの上、神宮球場にいらしてください。

今回は「ライバル宣言」というテーマで、六大学の選手を中心に春季リーグ戦におけるライバルを一人あげてもらいます。お楽しみに！

今後とも東大野球部をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向ヶ丘 1-5-9 一誠寮

Tel&Fax 03-3811-5100

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等

ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。